

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・1か月を通して週末の天候に恵まれた上、大人数の団体客の来園もあり、多くの客でにぎわっている。
	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は各種依頼が多い。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・4月に入り、人の動きがあり売上も増加している。今のところは安定しており、気温差もあるため、温冷どちらの温度帯の商材も売行きが良い。
	○	都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・前月からの流れが続き、法人、個人共に動きがあり、落ち込むことが少ない。遠方から人が集まるライブが例年より多かったこともあり、増収につながっている。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・新年度に入り、官公庁や各種団体の会合等があるため、順調である。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・景気そのものとの関係性はないと考えるが、これまで右肩下がりだったテレビサービスが、若干ではあるものの上向き傾向にある。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・当店では、新年度に向けては新入生向けの学校販売を主にやっているが、今までであれば1人で2～3着を注文、購入していたところ、1着のみで、期待外れである。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・経済が安定していない状況に消費者が慣れてしまったのか、消費意欲がみられない。ただし、家電業界においては2027年の規定変更を控え、照明器具のLED化や安価なエアコンの需要は伸びている。これは必要に迫られての購入で、景気に関係するとは考えにくい。
	□	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・食品催事、生活雑貨、寝具、パジャマ、インテリア関連は、新生活のスタートに当たり堅調に推移している。しかし、依然として続く中東情勢の影響による原油危機で、燃料や材料価格の高騰に伴い、積極的消費には結び付いていない。特に、食品総菜、化粧品等のデイリーユースが軟調に推移している。
	□	百貨店（店長）	販売量の動き	・物産展やイベント開催などで買い控えはまだ見受けられない。時期的に春は目的買いも多く、切り詰めている様子もない。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・値上げをしているものの、1品単価の伸びが鈍く、消費者の低価格志向が強まっている可能性がある。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・天候が安定しないため、現状、売上はやや厳しい状態である。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・相変わらず、来客数の減少が続いている。
	□	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・物価上昇により単価は上がっているものの、来客数は減少しており、節約志向がうかがえる。
	□	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・天候が良くなり、観光シーズンに入ったことから、人の動きが若干出てきている。
	□	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数は減少したまま変わらない。いろいろと値上げしているため、売上は増えているが利益は変わらない。自転車の交通取締りが始まったことで、仕事帰りに酒を飲む文化はかなり衰退していくのではないかとみている。当店も食事を軸にメニューの見直しをしているが、なかなか難しい。
□	都市型ホテル （スタッフ）	単価の動き	・3か月前と比べて、客室単価は10%以上上がっている。これは季節要因と今月は市内でイベント等があり、ある程度の金額でも客が利用してくれたからである。ただし、宴会に関しては、1月の新年会と比べると4月の歓迎会の単価は1000円くらい下がっている。	
□	タクシー運転手	販売量の動き	・諸物価が上がり、客の財布のひもが固くなっている。	
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・時期的な需要も例年縮小傾向にあり、コストは増大している。	

□	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・今月上旬は春休みのため、こどもや学生を中心に集客できた。中旬～下旬は勢いはなくなったが、常連客が戻り始めている。団体利用はやや減少したものの、それを越える一般客の来場がある。	
▲	商店街 (代表者)	来客数の動き	・物価高や中東情勢等、先行きの不安からか客の財布のひもが緩まなくなっている。	
▲	スーパー (経営者)	来客数の動き	・来客数は微減で、花見行楽もぱっとしない。節約志向がみられる。	
▲	スーパー (経営者)	来客数の動き	・前年比では、売上は8%減少、来客数が11%減少している。2月、3月と増加していたが、当店から少し離れてはいるものの、大型店が2店舗開店したことも影響していると考えられる。前年4月は当店の支店のオープンがあり、開店の商品供給で売上が増えていたため、前年を下回ったとも考えられる。5月から消防署への納品が加わり、12万円ほど売上が増える。来客数が減った分はほかでカバーしたい。	
▲	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数の減少、買上点数増加の傾向は変わらない。週末などのまとめ買いが以前より顕著になっている。また、夜間の値引き商材を狙って来店する客も以前より多い。	
▲	コンビニ (エリア担当)	お客様の様子	・物価上昇や中東情勢の影響が色濃く出てきている。	
▲	コンビニ (店長)	販売量の動き	・今月は行事等があっても、特に大きく伸びるということがなく、やや厳しい。	
▲	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・中東情勢を始めとして、物価高に対する懸念が強くなるなか、新車購入をためらうケースが増えている。	
▲	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・物価高の影響により、多くの客が買い控えを余儀なくされている。また、客が購入を希望する車種がオーダーストップとなっており、販売につながらない。中東情勢の変化により、エンジンオイルを含む油脂関係が全く入荷せず、サービス部門にも悪影響が生じている。	
▲	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・国際情勢の不安定さから、物価高騰が止まらない。先行きに対する不安もあつてか、外食自体減ってきている。	
▲	観光型旅館 (経営者)	販売量の動き	・従来、新年度は各種団体や企業の会議や宴会、同窓会等、地元のグループの需要が多かったが、今年はこうした需要が半減している。首都圏からの客も連休が5月に偏っているため、4月の需要は少ない。インバウンドは主要顧客である香港や中国からの客は少ないものの、従来は少なかった北米や欧州からの客がやや増加している。インバウンド全体ではやや減少している。	
▲	旅行代理店 (副支店長)	お客様の様子	・客の動きが鈍い。遠出を避ける傾向が強くなっている。ゴールデンウィークもやはり安近短の傾向で、海外旅行も円安の影響を受けて足踏み状態である。	
▲	観光名所 (職員)	お客様の様子	・国内観光客が減少している。インバウンドの来客は多いものの、買物はしていない。	
▲	ゴルフ場 (副支配人)	来客数の動き	・ガソリン代など物価上昇の影響か、来場者の伸びが悪い。特に平日の来場者は、金額を見ながら動く状況が続いている。	
×	商店街 (代表者)	来客数の動き	・当地だけの問題ではないと考えるが、中心街とは名ばかりで、買物客はもちろん、仕事の人を含めても人通りを実感できる状況はほとんどない。	
×	コンビニ (経営者)	お客様の様子	・先行きを考えてなのか、客の様子をみてもやや悪くなっている。	
×	その他専門店 [酒] (店長)	単価の動き	・売上自体はどちらともいえない。価格が上がっても売上は前年を超えてプラスだが、中東情勢の不透明さもあり、単価が非常に上がり、当店以外の諸物価も上昇している。こうしたなかで酒を選んで購入してくれるのか、非常に危惧している。単価には特にシビアになっており、一部には高い物を買う客も確かにいて、堅調で頼もしいが、容量を小さくしたり、購入回数を減らしたりするとみている。	
企業	◎	*	*	*

動向 関連 (甲信越)	○	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・特注品の受注対応が続いている。
	□	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・季節要因も多少あるが、受注量が少ないようである。
	□	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・プラス面として、大手企業業績の好調さや賃金の上昇があ る。マイナス面は、物価高騰が消費に悪影響を及ぼしている ことである。
	▲	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・受注量が減少している。新規、既存案件共に中東情勢の影 響により材料の入荷が遅延しているため、どこも動きが悪 い。
	▲	電気機械器具製 造業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・原材料の入荷が心配で、思うようには受注ができない。
	▲	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・催事では高額商材が動かない。店頭でも客足が伸びず、低 迷している。金地金の高騰は、一旦収まったが、逆に値下が りを心配して買い控える動きが出てきている。
	▲	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・現状では製造業の受注は底堅く推移しているものの、コス ト増加の影響が収益を下押しする環境に変化はみられない。 非製造業は物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりによ り、消費の抑制傾向が強まっている。観光関連では、スキ ー場関連で気温上昇による伸び悩みがみられたが、入込客は底 堅く推移している。
	×	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量 の動き	・量販店の棚替えで当社の商材が大分削られてしまい、軒並 み数量が落ちている。
	×	建設業（経営 者）	取引先の様子	・中東情勢の影響により、材料単価の上昇や品不足が続いて いる。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 （営業担当）	周辺企業の様子	・新卒の獲得がうまくいかず、通年採用に切り替える企業が 増えている。また、退職者が多く各企業は苦勞している。
	□	職業安定所（職 員）	採用者数の動き	・中東情勢の先行きの不透明感から、原材料、光熱費や物価 の高止まりが続くとの見方から、景況感が改善してはいな い。政策などもあり、直ちに景況感が悪化する状況ではない ものの、中長期的には先行きへの不安が残る。
	▲	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・当所管内令和8年3月の有効求人倍率は1.28倍となり、前 年同月比で0.04ポイントの下降となった。月間有効求人倍率 が前年同月を下回るのは23か月連続となっている。
	▲	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・派遣やパート以外の新規求人が鈍化し始めている。
×	—	—	—	